

平成 18 年 4 月 27 日

武庫川流域委員会  
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会  
委員 伊藤益義

基本高水について（提案）

これまで二本立てで検討してきました基本高水につきましてひとつに絞るため、下記のとおり提案を行いますので、ご審議をお願いします。

記

1. これまでの長時間の論議の中から、  
基本高水は高いから良しとするものでもない。  
治水対策ができないからそれに合わせて決めるものでもない。  
ということが合意形成されたと思います。
2. 従って基本高水の決定に当ってはデータのある降雨のうち例外的な引伸ばし倍率 3 倍を越えるものを除外した全降雨を検討対象として、  
時間分布による棄却  
地域分布による棄却  
引伸ばし倍率 2.5 倍以上の降雨の棄却（技術基準の「2 倍程度」に若干の余裕）から選定することを提案する。  
また観測点数の異状に少ない降雨（時間雨量測定箇所 3 箇所以下の降雨）については検討が必要である。
3. この結果別表の通りとなり、  
昭和 34 年 9 月 25 日降雨の甲武橋ピーク流量  $5075\text{m}^3/\text{s}$  が最高となるが、異常に高い値であることと観測点数が 3 箇所ということで除外する。  
この結果、最高値は昭和 37 年 6 月 8 日降雨の甲武橋ピーク流量  $3984\text{m}^3/\text{s}$ （基本高水  $4000\text{m}^3/\text{s}$ ）となる。

また平成 16 年 10 月 18 日降雨はこの基準（時間雨量）で棄却されるが、実績降雨の  $2900\text{m}^3/\text{s}$  は十分にカバーできる流量である。

以上



